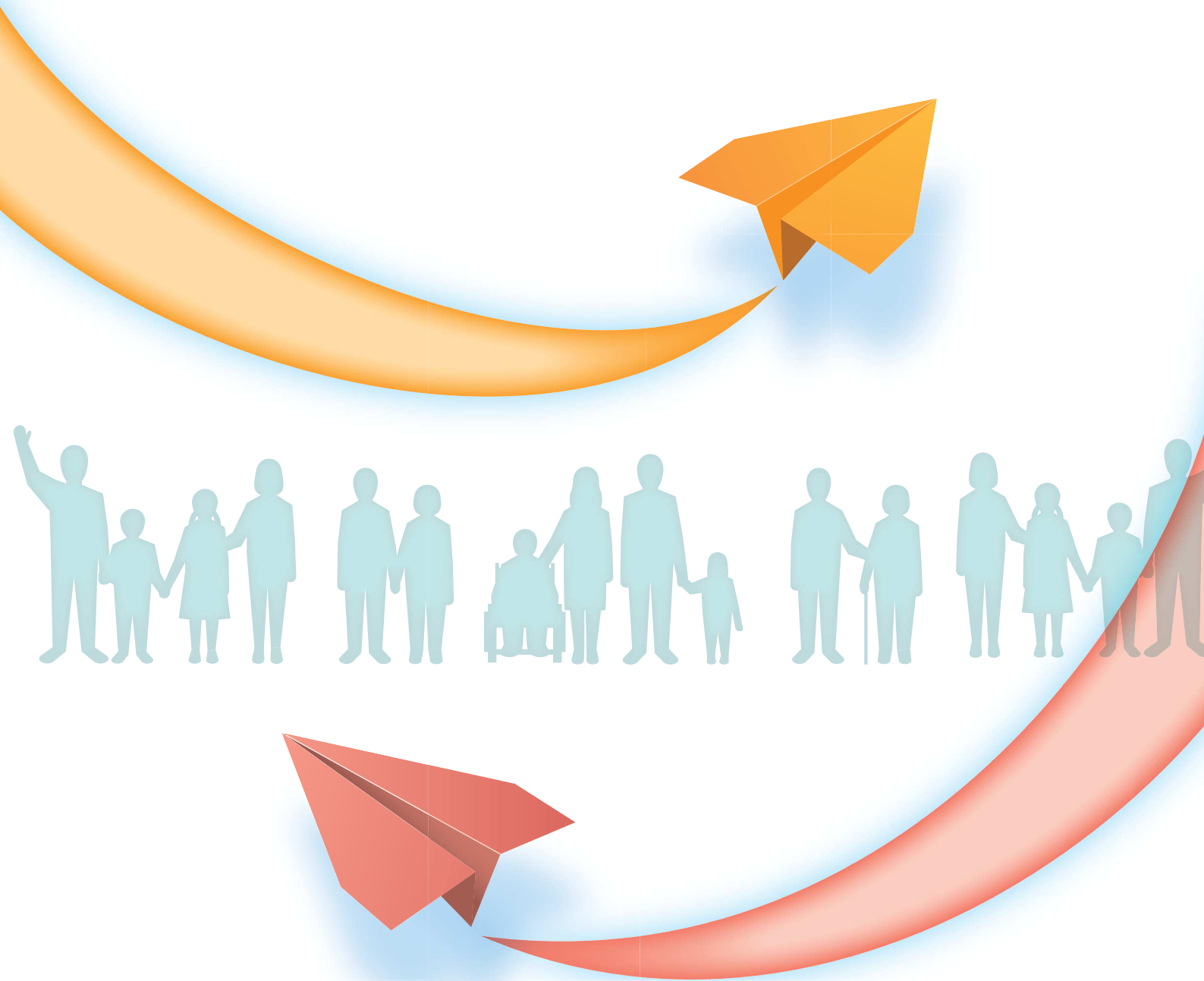


# 福祉・交流 まちづくり構想



平成30年3月  
● 岩国市

## 序章 はじめに

1 背景と目的	1
2 検討の流れ	2
<b>第1章 基本条件の整理</b>	
1 まちづくり構想に至る経緯	3
2 本市の概況	4
(1) 総人口と年齢区分別人口	4
(2) 本市と米軍基地との関係	5
(3) 米軍基地に関連する交流事業	5
(4) 公共施設等マネジメント	6
3 計画地(黒磯地区)の現況	7
(1) 立地条件	7
(2) 自然条件	7
(3) インフラ条件	7
(4) その他の法規則	8
4 上位・関連計画	10
5 意向調査	11
(1) 市民アンケート調査の概要	11
(2) 福祉事業者ヒアリング調査の概要	12
(3) 市議会・黒磯地区交流拠点づくり構想策定検討委員会での意見の概要	13
6 課題の整理と導入機能の方針	14
<b>第2章 基本方針と導入機能の設定</b>	
1 福祉・交流拠点の基本方針	16
(1) まちづくりの将来像	16
(2) まちづくりの将来像を支える基本理念	17
2 導入機能及び施設構成	18
(1) 基本理念を実現するための具体的取組	18
(2) 施設構成の検討	24
<b>第3章 施設整備計画</b>	
1 施設配置の基本方針	25
2 施設配置におけるポイントとイメージ図	26
<b>第4章 事業計画</b>	
1 整備スケジュールの検討	28

## 序章 はじめに

## 1 背景と目的

本市では、近年の高齢化や社会保障費の増大等により、市民の健康福祉に対する意識が高まっていることを受け、第二次岩国市総合計画において、「子育てといきいきとした暮らしを応援するまち」を基本目標の一つに掲げ、出産・子育て支援や高齢者支援などの充実を図り、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくりを推進しているところです。

さらに、総合計画では米軍基地が所在する自治体として「基地との共存」によるまちづくりの必要性を掲げています。

また、甚大な被害をもたらした平成26年の岩国和木豪雨災害時においては、災害復旧を支援する人材やボランティア活動に関する課題も見つかリ、愛宕山地区の「医療・防災交流拠点」と連携・補完する場の確保の必要性が明らかとなりました。

こうした本市の現状を踏まえ、福祉の向上による市民生活の安定やボランティア活動の場の構築を図るとともに、市民と米軍関係者を始めとする外国人との身近な交流を通じた相互理解を深めることを目的として、大規模な一団の敷地確保が可能な黒磯地区の岩国医療センター跡地(以下「計画地」という。)において、豊かな地域資源を活かした総合的な福祉・交流拠点の整備に向けた基本的な方針や土地利用計画として「福祉・交流まちづくり構想」(以下「まちづくり構想」という。)を策定するものです。



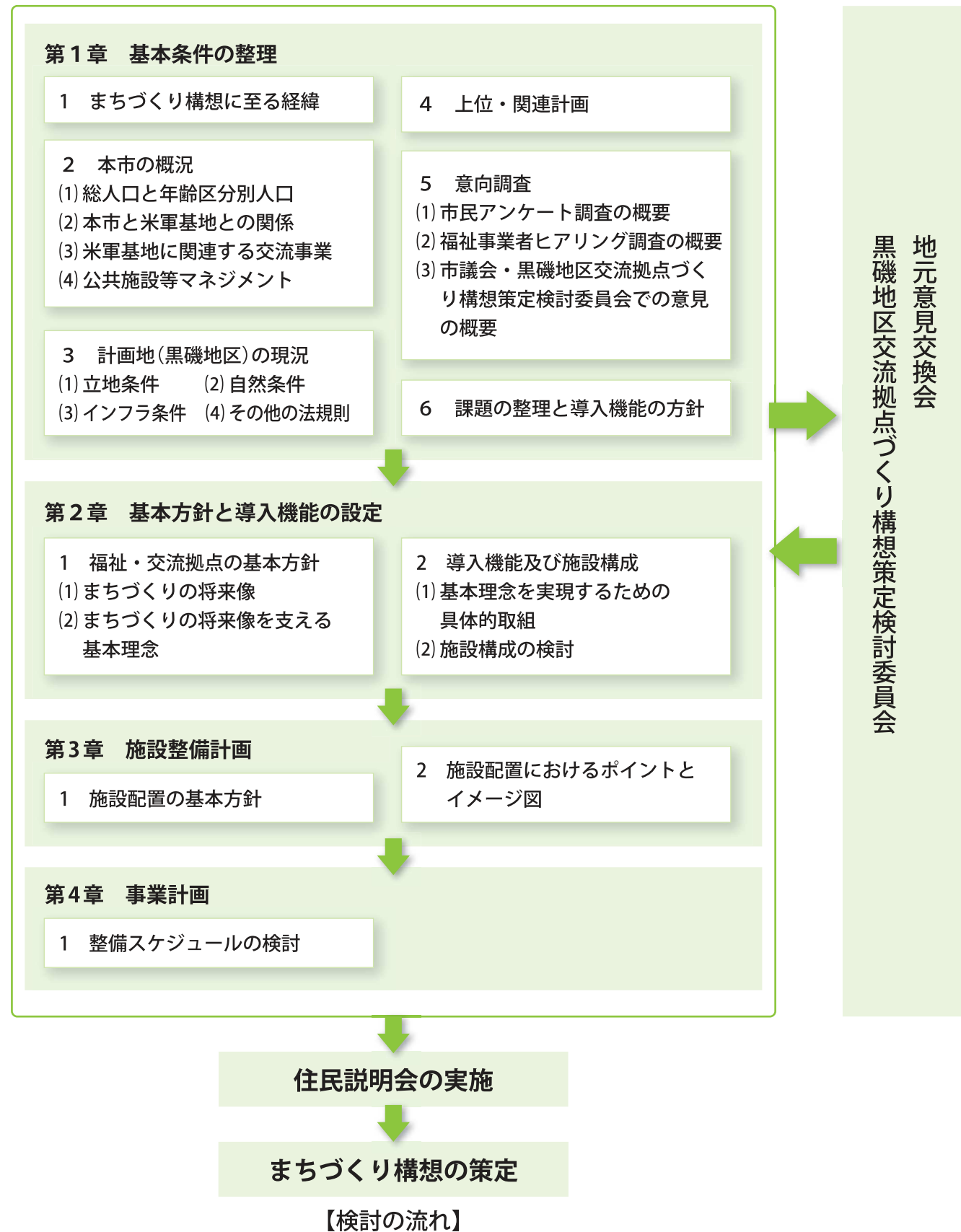
【計画地 位置図】



【計画地 航空写真】

## 2 検討の流れ

まちづくり構想の検討にあたっては、岩国市総合計画や分野別計画など、上位・関連計画との整合を図るとともに、広く意見を伺うために、市民アンケートや事業者ヒアリング等を実施しました。また、黒磯地区交流拠点づくり構想策定検討委員会や地元意見交換会を開催し、様々な意見や提言をいただきながら進めてまいりました。

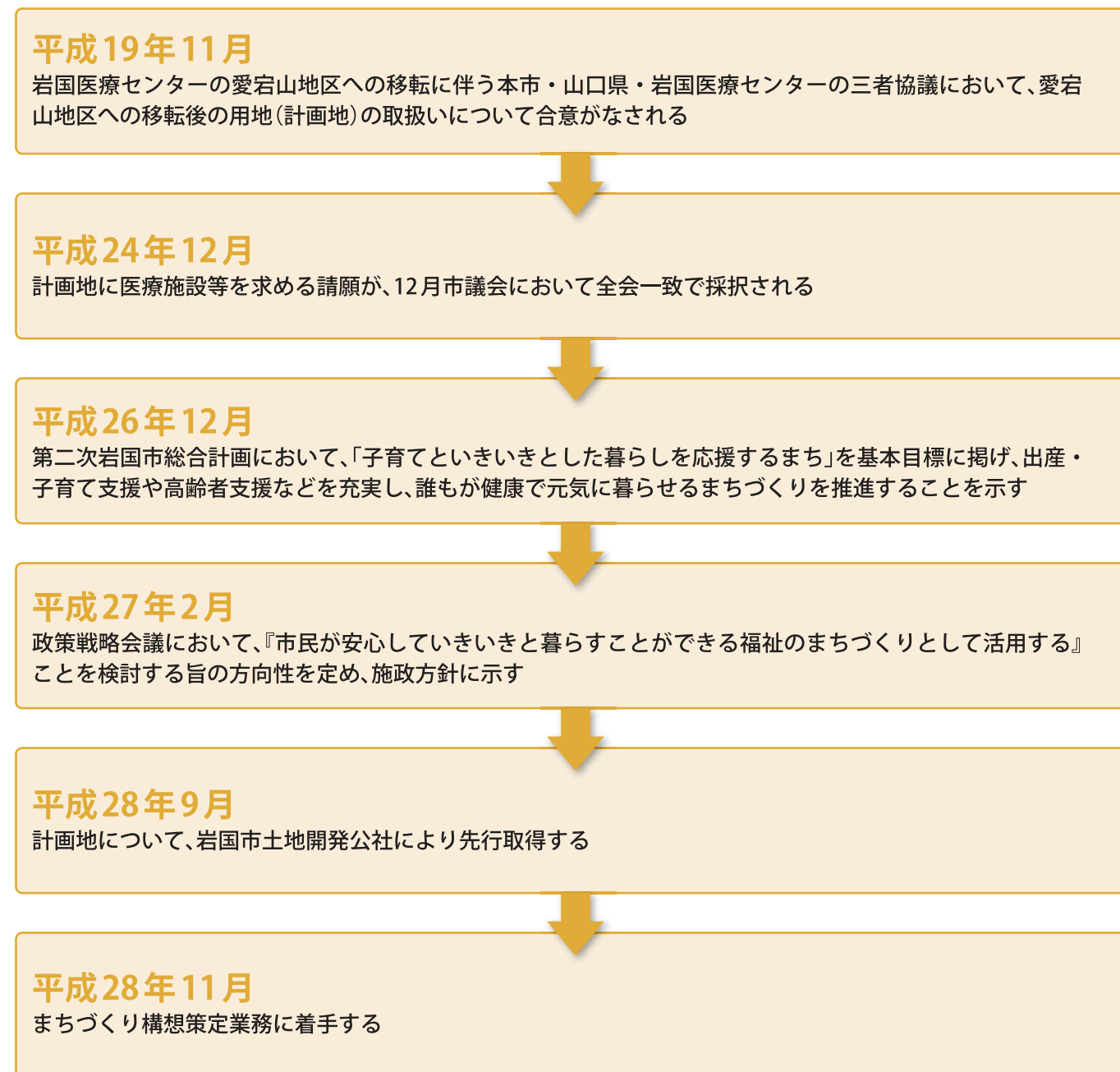


## 第1章 基本条件の整理

### 1 まちづくり構想に至る経緯

本市では、平成19年11月の岩国医療センターの愛宕山地区への移転に伴う本市・山口県・岩国医療センターの三者協議での合意を踏まえ、平成22年度より、様々な見地から計画地におけるまちづくりの可能性の検討を行っています。

平成27年2月の施政方針において、計画地におけるまちづくりの方向性を、『市民が安心していきいきと暮らすことができる福祉のまちづくりとして活用する』と示し、平成28年度から基本的な方針や土地利用計画の検討を進めています。





## 2 本市の概況

本市の人口減少や少子高齢化の状況、本市と米軍基地との関係や交流事業の状況、公共施設等マネジメントの状況について、概況を次のとおり整理します。

### (1) 総人口と年齢区分別人口

#### ① 総人口

本市の総人口は、平成27年国勢調査では136,757人であり、年々減少傾向にあります。

減少率も年々大きくなっており、平成22年から平成27年にかけては4.94%の減少となっており、年間約1%の人口減少となっています。

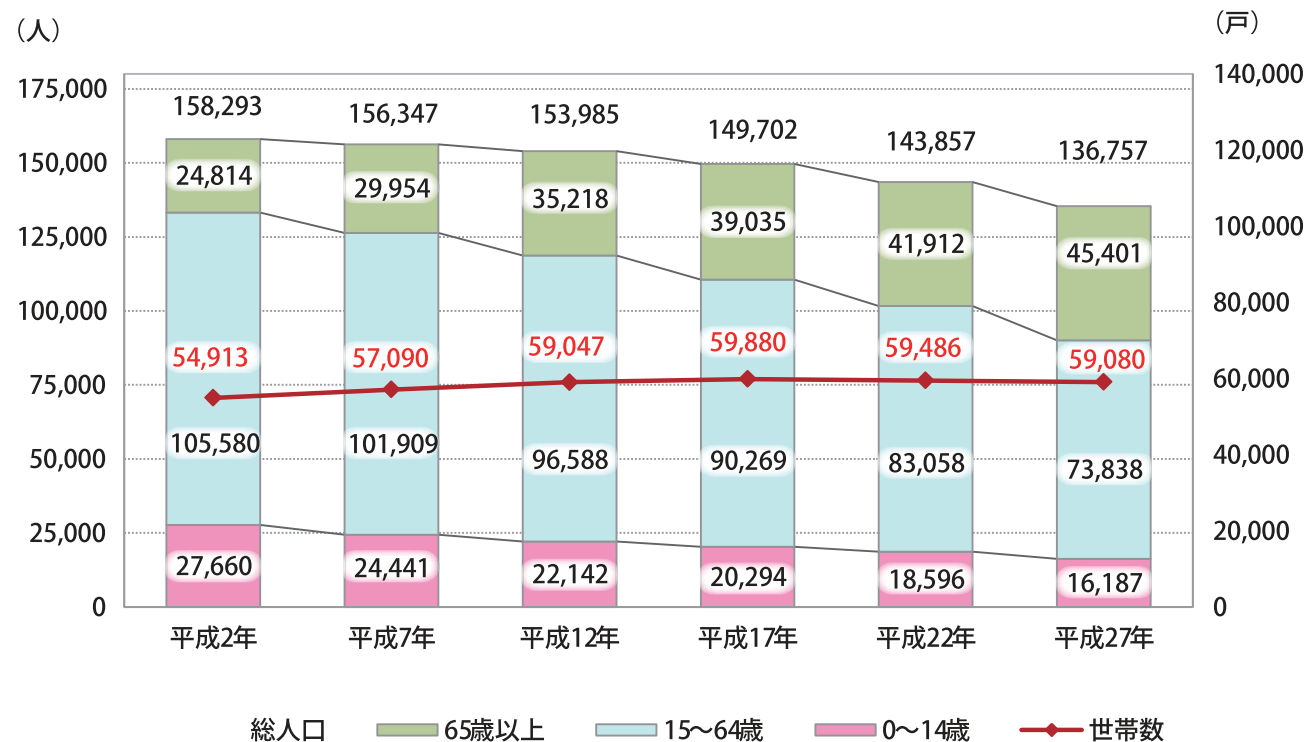
世帯数は、平成17年まで増加していましたが、その後減少傾向にあります。

#### ② 年齢区分別人口

年少人口(0～14歳)は、平成27年国勢調査では11.8%となっており、年々減少傾向にあります。また、生産年齢人口(15～64歳)の構成比も減少し、平成27年では54.0%となっています。

他方、老年人口(65歳以上)は増加しており、平成27年は33.2%となり、市民の3人に1人は高齢者となっています。

また、岩国市人口ビジョン(平成27年10月策定)によると、平成12年と平成25年の比較では、出生率は27.2%減少しており、同時期における全国の減少率13.5%に対し、2倍以上となっています。



【本市の人口と世帯数】

### (2) 本市と米軍基地との関係

米軍基地が所在する本市では、長年にわたり、航空機等による事故やジェット機等の騒音により、生活への危機感や不安感を募らせています。

さらには、在日米軍再編に伴い、平成29年8月から、厚木基地より空母艦載機の移駐が開始され、倍増する航空機等による騒音や、米軍関係者の犯罪や事故等に対する住民の不安解消につながる安心・安全対策が求められています。

一方、本市は米軍基地と共存するまちとして、市民の理解や調和を図ることも重要であり、日米の相互理解と親善を深める一層の取組が必要となっています。

### (3) 米軍基地に関連する交流事業

本市における米軍基地に関連する交流事業は、文化・スポーツ活動を始め、様々なボランティア活動などを中心に定期的に行われており、市民と基地内外で様々な交流事業を行っています。

また、岩国市総合計画においては、基地が所在する本市の特性を活かし、米軍関係者を始めとする外国人との身近な国際交流や、国際協力の活動を促進し、相互理解を深めるとともに、グローバル人材の育成を行う施策目標を掲げています。



文化交流(ハロウィンカーニバル)



文化交流(田植え体験)



文化交流(餅つき体験)



災害ボランティア活動



清掃ボランティア活動



日米親善デー